

■ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、はてはけない「禁止」の内容です	この絵表示は、「分解禁止」の内容です	この絵表示は、「接触禁止」の内容です	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です
------------------------	--------------------	--------------------	----------------------------

やけど、漏水をした場合の処置
やけど やけどをした場合は、すぐその箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。
漏水 漏水した場合は元栓、または止水栓を開けてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

<p>加工及び接合等の改造はしないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>小さいお子様だけの使用は避けてください。</p> <p>禁止</p> <p>やけど・けがをするおそれがあります。</p>	<p>シャワー使用中に2か所同時使用をしないでください。</p> <p>禁止</p> <p>他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇し、やけどをするおそれがあります。</p>
<p>シャワーには60℃以上のお湯を通水させないでください。</p> <p>禁止</p> <p>通水させると器具が破損し、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。</p> <p>分解禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>器具の左側は熱くなっているため直接肌を触れないでください。</p> <p>接触禁止</p> <p>給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>湯側配管は熱くなっているため高温部に直接肌を触れないでください。</p> <p>接触禁止</p> <p>給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。</p>

<p>高温の湯をお使いのときには吐水口および器具の左側は高温になっています。直接肌を触れないでください。</p> <p>接触禁止</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>	<p>湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、適温かどうか確かめてから吐水してください。</p> <p>注意</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また吐水口とシャワーの切替時や、シャワー吐水状態の切替時に、吐水温度が高くなる場合があります。</p>	<p>お使いになる前に、吐水口側かシャワー側かを吐水切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。</p> <p>確認</p> <p>吐水口とシャワーを間違えると、やけどをするおそれがあります。</p>
<p>湯水を出すときは、必ず水側のハンドルから開いた後、徐々に湯側のハンドルを開いて湯温を調節してください。</p> <p>注意</p> <p>湯側のハンドルを開くと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>シャワー使用後は、吐水切替ハンドルを必ず吐水口側に切替えてください。</p> <p>注意</p> <p>吐水切替ハンドルがシャワー側になっているのを気付かず湯を出すと、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>湯水を止めるときは、必ず湯側のハンドルから閉めてください。</p> <p>注意</p> <p>次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>
<p>高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してから止水してください。</p> <p>注意</p> <p>次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>器具に乗ったり、よいかかったりして無理な力を加えないでください。吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回さないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品はぶついたり落としたりしないでください。鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>
<p>ヘッドをホースに取り付ける際は斜めに取り付けず、まっすぐ取り付けしてください。</p> <p>注意</p> <p>ヘッドのねじ部は樹脂製のため、ねじがぶれ、ホースに取り付けできなくなる場合があります。</p>	<p>ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがあるため、ゆっくり操作してください。</p> <p>注意</p> <p>急に閉めると「ドン」という音がして配管に衝撃が加わり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>凍結が予想される際は、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。</p> <p>注意</p> <p>凍結を防止しないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

●修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。
☎ 0120-474-161 ※携帯電話からは、**0574-55-1191**をご利用ください。

<p>水栓の品番をご確認ください</p> <p>水栓に貼ってある品番シールをご確認ください。シールの左下が品番です。 [シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください]</p>	<p>修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています</p> <p>技術料…診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用</p> <p>部品代…修理に使用した部品代</p> <p>出張料…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用</p>
---	--

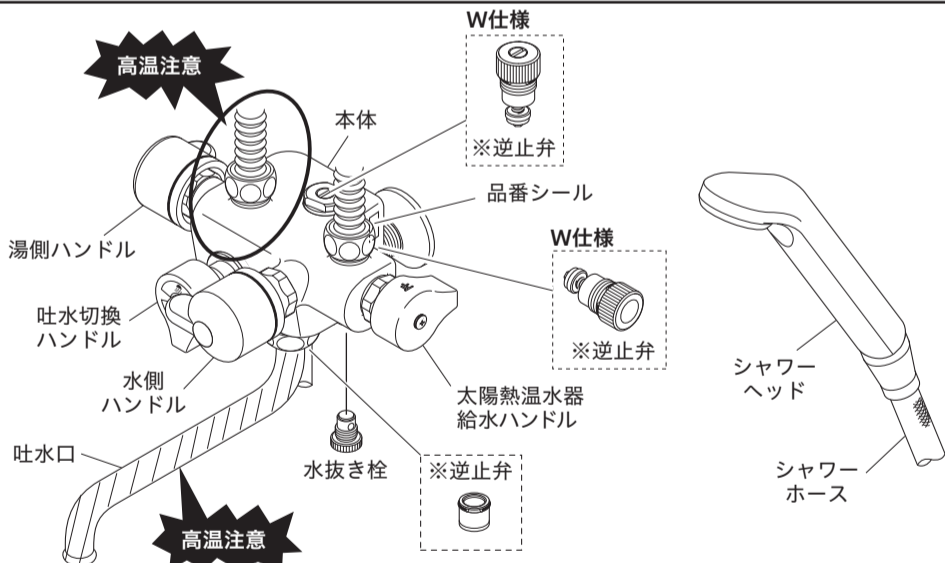
●商品に関するお問い合わせはKVKお客様相談センターにご連絡ください。
☎ 0570-099-552

株式会社KVK

インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

ご使用前の / ご使用方法

各部の名称



※逆止弁は仕様により付いていないものがあります。

ご使用方法1: 給水方法

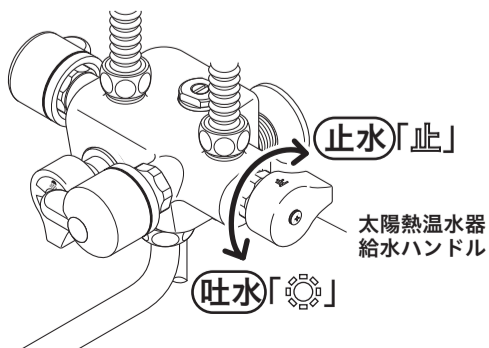
太陽熱温水器への給水は太陽熱温水器給水ハンドルを (●) マークの位置にしてください。

【太陽熱温水器が自然循環式で上部採湯配管（オーバーフロー配管）の場合】

太陽熱温水器への給水ハンドルは通常 (●) マークの位置にしたままご使用になれば、お湯を使うと同時に太陽熱温水器への給水が自動的に行われます。

【太陽熱温水器が汲置き式又は自然循環式で下部採湯配管（ロット配管）の場合】

お湯を使用する時は太陽熱温水器給水ハンドルは (止) の位置にしてください。(●) マークの位置にありますと太陽熱温水器のタンク内で湯と水が混合され、お湯がぬるま湯になってしまいます。



ご使用方法2: 湯水の出し止め方法

1. 湯水の出し方

水側ハンドルを開けてから、徐々に湯側ハンドルを開き適温に調節します。

2. 湯水の止め方

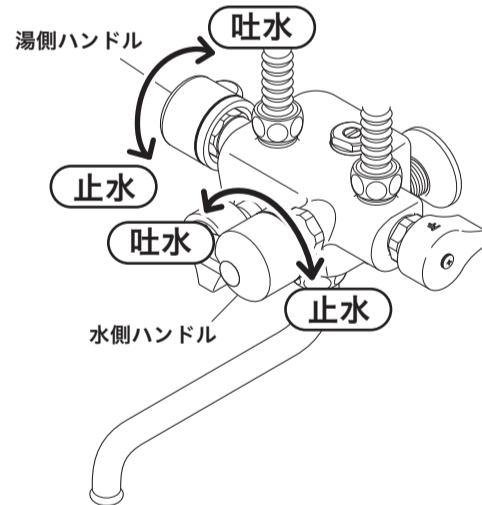
湯側ハンドルで湯を止めてから、水側ハンドルで水を止めてください。

【警告】

湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、適温かどうか確かめてから吐水してください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

【注意】

湯側・水側ハンドルはゆっくり操作してください。急な操作はウォーターハンマー（水撃）音が発生し、配管からの漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



吐水の切替方法

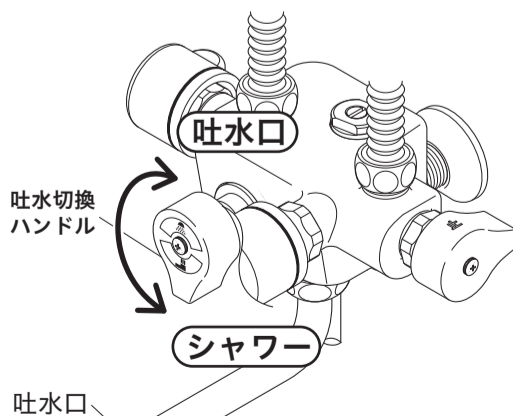
吐水切替ハンドルを上いっぱい回すと吐水口から、下いっぱい回すとシャワーから湯水が出ます。

【警告】

湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、適温かどうか確かめてから吐水してください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

【止水直後の水滴について】

シャワーを止めた直後、シャワーヘッドから水滴が落ちることがありますが、これはシャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。シャワー止水後は、シャワーヘッドを振って水を切ってください。



【注意】

シャワーヘッドやホースを水に浸けたまま放置しないでください。水が逆流するおそれがあります。

吐水口

凍結予防のしかた（水栓本体は寒冷地仕様ではありません）

- 水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。凍結による部品の破損は、保証期間内でも有料修理となります。
 - 凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は、凍結予防の処置をしてください。
- 【△警告】解氷機を使用する際は、水栓には通電しないでください。水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 【△注意】凍結が予想される際は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される場合

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

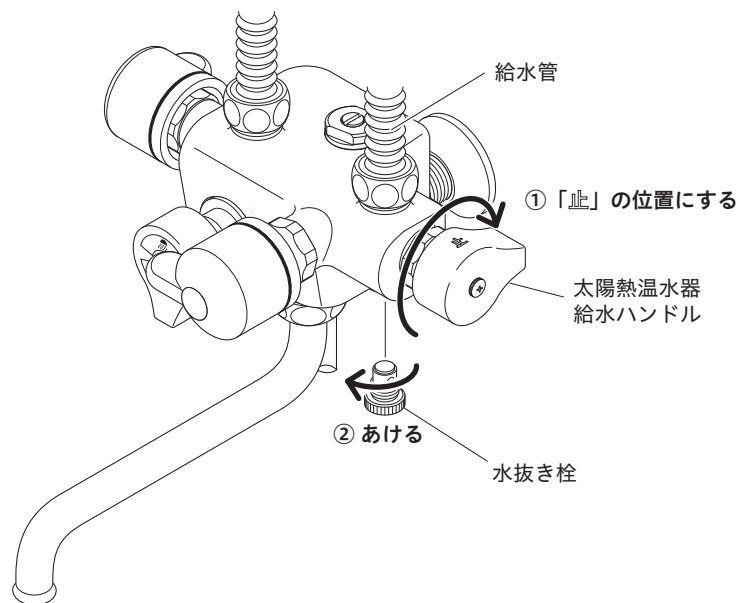
- ・水栓より少量の水を出しておきます。
- ・配管部などに布を巻きます。

長期不在される場合

長期不在される際は、下記の手順に従って太陽熱温水器までの給水管の水抜きを行ってください。

操 作	
①	太陽熱温水器給水ハンドルを「止」の位置にします。
②	水抜き栓(1か所)を開けて水を抜きます。

【お願い】水抜き後、通水を再開する場合必ず水抜き栓がしまっていることを確認してから通水してください。



5 ページ

日常のお手入れ・保守

お手入れ方法

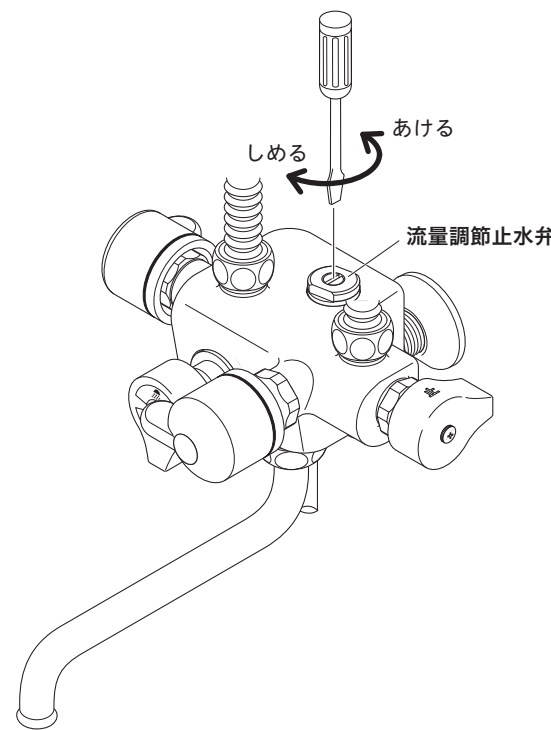
- 【軽い汚れの場合】
汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。
- 【ひどい汚れの場合】
中性洗剤をぬるま湯でうすめて、柔らかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭き取ります。
- 【使ってはいけないもの】
水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

流量の調節方法

流量の調節は下記の方法で行ってください。また、給水圧力が高い場合に、流量調節止水弁をしばって流量を調節してください。



6 ページ

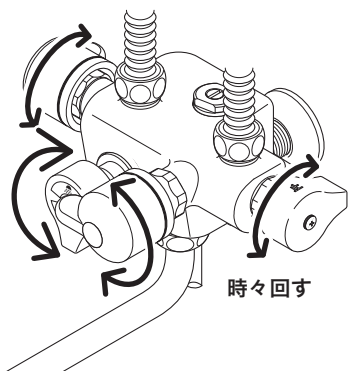
定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的な点検をおこなってください。

【湯側・水側ハンドルの操作性】
時々湯側・水側ハンドルをいっぱいに戻してください。湯側・水側ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、吐水機能が損なわれるおそれがあります。

【吐水切換ハンドルの操作性】
時々吐水切換ハンドルをいっぱいに戻してください。吐水切換ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、吐水切換機能が損なわれるおそれがあります。

【太陽熱温水器給水ハンドルの操作性】
時々太陽熱温水器給水ハンドルをいっぱいに戻してください。太陽熱温水器給水ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、操作機能が損なわれるおそれがあります。



配管まわりからの水漏れ（1か月に1回程度）

【△注意】配管まわりから水漏れがないか確認してください。部品の劣化・摩耗などにより継続的な漏水につながりますので、配管まわりの点検を行ってください。

定期的な部品交換（部品は水栓の種類によって異なります）

		使用年数											
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
取付日	お客様による日常のお手入れ・点検	→											
	消耗部品の交換（シャワーホース・パッキン等）[有料]	→											
	摩耗劣化部品の交換[有料]	→											
部品の交換	部品の摩耗劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。 ・摩耗劣化部品の例(水栓の種類によって異なります)例)カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等												
【△注意】	中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。(逆止弁は仕様により付いていないものがあります。逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください。) 部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。												
補修用部品の供給期間	この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。												

7 ページ

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	吐水切換ハンドルはいっぱいまで回っていますか	吐水切換ハンドルをいっぱいまで回す	4ページ 「吐水の切換方法」
	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません		—
吐水量が少ない(シャワーが弱い)	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ 「流量の調節方法」
高温しか出ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ 「流量の調節方法」
低温しか出ない	エアロック現象が起きていませんか	配管の確認をする	施工説明書5ページ 「取り付け手順」
	太陽熱温水器給水ハンドルがマーク側になっていますか	太陽熱温水器給水ハンドルを回す	3ページ 「給水方法」
	太陽熱温水器から十分な湯がきていますか	太陽熱温水器の作動を確認する	—
温度調節がうまくできない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ 「流量の調節方法」
	太陽熱温水器から十分な湯がきていますか	太陽熱温水器の作動を確認する	—
	水の勢いが強い又は水圧が高くなっていませんか	流量を調節する	—

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

8 ページ